

第3学年3組 国語科 学習指導案

実施期間 令和7年11月

指導者 前田 和樹

1 単元の構想

調べたことを整理する「道具のひみつをつたえよう」(東京書籍3年下)

単元終了後の 子どもの姿	道具のひみつについて、道具の歴史や仕組みなどに興味を持ち、本やインターネットで調べようとしている。また、調べたことをもとに、情報を分類し、読み手となる相手を意識してレポートにまとめようとしている。		
単元の目標	知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
	① 分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、使い方を理解し使うことができる。	① 相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選ぶことができる。 ② 集めた材料を分類して、伝えたいことを明確にすることができる。 ③ 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落を作って、文章の構成を考えることができる。	① 進んで調べたことを整理して、学習の見通しを持って、レポートを書こうとしている。
目標に向かうための手立て	<p>○「3つのポイント」×「子どもが主体のICT」</p> <p>【めあて】 子どもの「伝えたい」「調べてみたい」「書いてみたい」という意欲を高めるために、「友だち」という具体的な相手を設定し、相手意識を持たせ、今とはつくりや使い方が違う昔の道具に関する映像資料を活用する。</p> <p>【振り返り】 学んだ内容だけでなく、学び方も振り返ることができるように、「調べ方がどうだったか」「友だちと意見交流をしてどうだったか」など、観点を示して振り返るようにし、それらを同じ場所に積み重ねていけるように、ロイロノートを活用する。</p> <p>【対話】 自分や友だちの考えを可視化し、比較しやすいように、調べたことのメモやレポートの構成をロイロノートのワークシートで行う。</p>		
子どもの実態28人	① 同じものやちがうものを仲間に分けて分類することは概ねできるが、必要な語句を見つけて書き抜くということについては個人差がある。	① ほとんどの児童が、自分の経験や想像から、書くことを選んでいる。 ② 情報の分類は概ねできるが、その中から伝えたいことを明確にすることについては個人差がある。 ③ 始め・中・終わりにそって文章を構成することは概ねできるが、レポートの形式にそって書くことは経験していない。	① 知りたいことについて調べることが好きな児童が多く、これまでに調べたことをまとめる活動をしているが、レポートを書くという経験はしておらず、初めての経験である。

単元の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、使い方を理解している。	① 相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選んでいく。 ② 集めた材料を分類して、伝えたいことを明確にしている。 ③ 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落を作って、文章の構成を考えている。	① 進んで調べたことを整理して、学習の見通しを持って、レポートを書こうとしている。

指導と評価の計画（10時間取り扱い ●本時1/10）

課題等	次	時	主たる学習活動	評価する内容と方法等
レポートについて調べ、道具のひみつをレポートに書いて伝えてよう。	1	1	●単元の学習の見通しを立て、レポートにどんなことを書けばよいか考える。	【思】①ノート・ロイロノート・発言
	2	8	○レポートの書き方を確かめ、調べる道具を決めて情報を集める。 ○集めた情報を整理し、分類する。 ○レポートの組み立てを考える。 ○レポートを書く。 ○できあがったレポートを友だちと読み合う。	【知】①ノート・ロイロノート 【思】②ノート・ロイロノート ③ノート・ロイロノート・レポート 【主】①振り返り・学習時の姿
	3	1	○単元の学習を振り返る。	【主】①振り返り

2 本時の授業計画

(1) 本時の目標

身の回りの道具について書いて伝えるために、道具についてのどんな内容を書くとよいか考えることができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動	○主な発問・指示 ・予想される子どもの反応	○教師の支援 ◎評価	備考 ・ICT機器等
導入	5	1. 前単元を振り返り、めあてを設定する。	○身の回りにあるほかの道具は、昔からあったのでしょうか。 ・なかったと思う。 ・あったけれど、今とは違う形じゃないかな。 ○身の回りにある道具のひみつを伝えるには、どんなことを書けばよいでしょうか。 ○調べた道具のひみつを、誰に伝えたいですか。	○子どもたちの身近にある道具をいくつか挙げ、想像しやすいようにする。	・ロイロノート ・デジタル教科書
	道具のひみつを伝えるために、何を調べればよいか考えよう。				
展開	10	2. 動画クリップ「生活の道具のうつり変わり」を視聴し、気づいたことを出し合う。	○動画を見て、どんなことに気づきましたか。どんなことに驚きましたか。 ・今とは形が違うんだな。 ・昔の道具は、使い方も今は違うぞ。	○身の回りにある道具が、昔はどのような形で、どのように使っていたかを捉えやすくするために、映像資料を活用する。	・大型テレビ ・NHK for Schoolの映像資料（生活の道具のうつり変わり）
	15	3. 道具のひみつについて、どのようなことを書けばよいか考え、調べる観点を整理する。	○道具について、どんなことを調べて書けば、読む人にひみつが伝わるでしょうか。 ・道具の昔のことを書くとよさそうだ。 ・どうやって形が変わってきたのかを書くといいな。 ・便利になった仕組みも書いてみたいな。	○次時以降、調べたことを観点ごとにまとめやすいように、ロイロノートのカードに書き出していく。 ◎【思】①映像資料や友だちと話したことから、調べる道具の何を知りたいのかを明確にしている。	・ロイロノート
終末	10	4. 調べたことをレポートにまとめることを伝え、見通しを持たせる。	○他の道具についての動画も見てみましょう。 ○調べたことを観点ごとにまとめていくのにぴったりな、レポートというまとめ方があります。	○児童の興味・関心に合わせて動画の視聴ができるように、動画クリップをプレイリストにまとめておく。	・ロイロノート（プレイリスト） 実物のレポート
	5	5. 本時の学習を振り返る。	○今日の学習を振り返って、わかったことやこれからやってみたいことを書きましょう。 ・道具の歴史についての本を探したいな。 ・道具の仕組みはどのように調べたらよいのだろう。	○板書やワークシートをもとに、本時の学習を振り返る。 ○友だちと話したことや、それを聴いて考えたことも書いてよいと伝える。	・ロイロノート